

ひび割れの補修に!!

硬質床のひび割れをはじめ、壁・天井のひび割れまで簡単に修復できる2タイプの補修材です。



これ以上
広がらないよう
早めに補修したい

クラックシール

[屋内]

クラック補修用
注入材

硬化時の収縮や不同沈下などにより、クラックが入ってしまうコンクリートやモルタルの床。従来のセメントペーストやエポキシ樹脂を使用する補修方法は手間がかかり、しかも満足に処理できないのが現状です。「クラックシール」は、従来の手法に比べて手間がかからず、また補修の後も目立ちにくくなります。誰にでも簡単に、しかも確実にクラックを補修することのできる、クラック補修用注入材です。

■簡単に作業ができます。

■施工直後に歩行できる速硬化タイプです。

■やせが少ないため、5mmのクラックも一回の充てんで十分です。

■3色のカラーがあり、補修跡が目立ちません。

主な用途

- コンクリート床のクラック充てん
- カラクリート、フェロコンなど硬質床のクラック充てん

■物性(材令28日)

(N/m²)

試験項目	圧縮強度	曲げ強度	接着強度
物性値	29.4	11.5	1.94

■カラー



グリーン



ブラウン



グレー



5kgセット/箱(0.5kg/セット×10ヶ入り)
(1セット…粉体部0.35kg/液部0.15kg)

20kgセット/缶
(1セット…粉体部14kg/液部6kg)

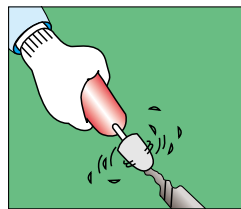
※幅2mm、深さ15mm程度のクラックに充てんする場合、0.5kgセットで約5mの施工が可能です。(ロス分含む)
5kgセット1箱で約50m分、20kgセット1缶で約200m分です。なお、この施工の長さはクラックの状態(幅や深さ)により異なることがあります。

下記の□内に数値を入ると、必要量が計算できます。

クラック幅	クラック深さ	単位長さ	定数 (材料比重とロス率)	クラック長さ
□ cm	× □ cm	× 100 cm	× 3	× □ m
1mあたりの使用量(g)				

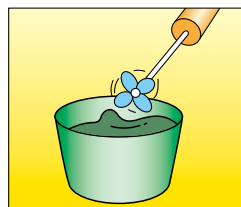
※クラック幅とクラック深さは単位を「cm」、クラック長さは「m」に換算して計算してください。
※定数は材料比重2とロス50%で積算しています。

■施工の手順



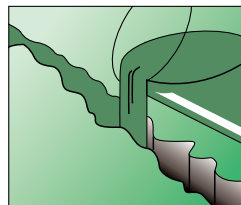
1 下地処理

床面のクラック部分をダイヤモンドカッター、クラックカッター、サンダーなどで削り、汚れを除去し、きれいな下地を露出させます。その後、削り取った部分を電気集塵機で清掃してください。
下地処理が終了したら、刷毛などを用いてクラックを水で湿らせてください。



2 配合と混練

クラックシールは、「粉体部」と「液部」の2成分からなる反応タイプのため、必ずセット単位(粉体部0.35kgと液部0.15kg)で配合します。液部を適度な容器にかけ、粉体部を徐々に加えながらよく混練してください。
大口梱包(20kg/セット)は必ず小分けして使用してください。(20kgセットのままの量の混練は不可)



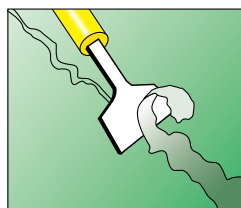
3 充てん

混練したクラックシールを、クラック部分に充てんします。クラックの幅よりも広く、床面よりも盛り上がるように流し込んでください。
(流動性があるので、充てん量が少なかったり、盛り上げるように流し込まないとやせが出ます。)

※クラック幅が5mmより大きく、深い場合には2度にわたって作業してください。

※流し込む時は、紙コップやプラスチックコップを利用すると便利です。

※充てん時にクラック幅よりはみ出した部分が、薄いしみや痕跡として残る場合があります。これを減少させるためには、クラック周辺のマスキングを行ってください。

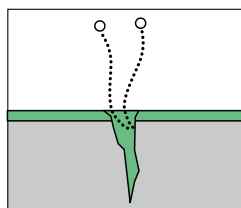


4 仕上げ

充てん後、下記の時間を目安に放置してください。

- 気温5℃の場合 2～5時間
- 気温20℃の場合 1～2時間

放置後、クラックからはみ出し、盛り上がった余剰の「クラックシール」を、スクレーパーなどで床面と同じレベルに削り取ります。
(充てん面をチェックし、やせがある場合は再充てんしてください。)



5 養生

施工終了後は約24時間、養生してください。
(なお歩行は「クラックシール」を削り取った直後でも可能です。)

※弊社フロアアブライトシーラーや市販のフロアワックスをクラックシールの表面に塗布すると、汚れが付きにくくなります。

■ご使用上の注意

※混練した「クラックシール」は、10分以内に使い切ってください。

※余剰分を削るときはNTカッターの刃など刃先の鋭い刃物を用い、ゆっくりと丁寧に行なってください。皮すきなど、刃先が丸いものは使用しないでください。

※クラックシールを充てんした後で、躯体の動きやコンクリートの乾燥収縮によって、目地部分にすき間ができることがあります。このような場合は、再度充てんしてください。

※1 下地処理の水湿の替わりにセット中の液部を用いて刷毛塗りすることも可能です。
この場合、液部0.15kgで50～100mの施工可。
(ただし、そのセットは使えなくなります。)